

# 豪雨災害を乗り越え地域を守る！ 集落営農組織の合併により地域を守る取り組みに

【類型】 水稻 + 露地野菜 + 作業受託

【組織名】 農事組合法人ふぁー夢宗呂川（平成26年1月設立）

【所在】 高知県土佐清水市

【構成戸数・人数】 15戸・15人

【従事者数】 オペレーター15人

【経営規模】

水稻（コシカ、イヒカ、飼料用米）26.2ha

野菜（ブロッコリー）0.5ha

作業受託 代かき：90a、田植え：44a

粃摺り：290a



（農）ふぁー夢宗呂川設立総会

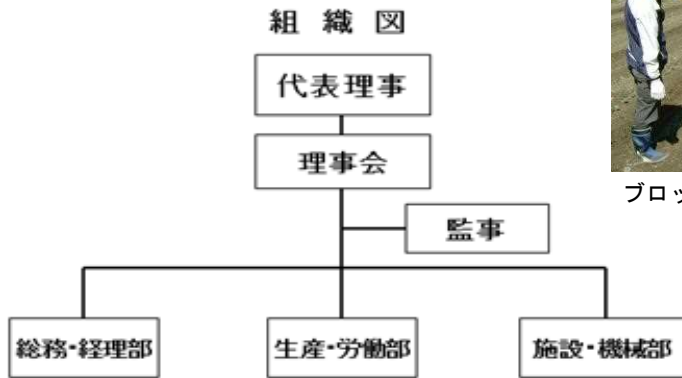
## 設立の経緯

- 宗呂川流域の3集落（下川口郷、宗呂下、宗呂上）では、平成13年9月に土佐清水市を襲った、高知西南豪雨災害により農地の流亡や農機具の損害などの大きな被害を受けた。この災害を契機に、3集落で集落営農の取り組みを開始し、各集落で集落営農組織を設立した。
- 平成20年度に、こうち型集落営農のモデル地区として3組織が連携した活動を始め、その年に3組織を合併し「ふぁー夢宗呂川（任意組織）」を設立した。設立後は3集落の水稻作業の集積を進め、平成26年1月に法人化し、地域の農地の半分以上を担う法人となった。

## 取組の特徴・効果

- 水稻を中心として、飼料用米を栽培。また、土佐清水市のブランド米「あしずり黒潮米」の栽培にも取り組んでいる。
- 法人として環境保全型農業直接支払制度に取り組んでいる。
- 3集落の農地の半分以上を集積しており、法人が地域の農地の担い手となっている。
- 地域の農地を守っていくための組織で、利益追求をする組織ではない。そのため、賃金については男女差や組合員や員外との差はつけていない。
- 法人の役員が各集落の役職を担っている。また、地元の祭りや行事等にも中心的に参加しており地域社会の維持、発展にも貢献。

## 【具体的な取組内容】



ブロッコリー栽培(移植作業)



水稲収穫作業



ミニライスセンターを設置  
乾燥・粃摺り作業

## 【主な機械・施設】

施設・機械名	台数	能力・規模
トラクター	3台	31ps、34ps、37ps
ハロー	3台	2.8m
畦塗機	3台	30ps対応
田植機	3台	5条植×2台、4条植
コンバイン	3台	3条刈(グレンタンク)
粃コンテナ	2台	
乾燥機	5台	40石×3台、20石×2台
ブロードキャスター	2台	200L
粃摺機	1台	5インチ
播種機	2台	バラ播用、みのるポット用
管理機	1台	5ps
畦立機	1台	7ps
野菜移植機	1台	2.4ps
パイプハウス	1棟	450㎡
農業用倉庫	2棟	200㎡、81㎡
色彩選別機	1台	5インチ対応
低温貯蔵庫	1台	288袋
乾燥調整ライン	一式	
フォークリフト	1台	1.5t

## 【課題・今後の取組】

- 設立当初の集落ビジョンも一区切りとなり、今後5年間の経営ビジョン、収支計画を策定していく。
- 1筆が8aという狭隘なほ場ばかりで管理のためのコストが非常にかかっている。基盤整備事業に取り組み、低コスト・省力化を進めていく。
- 専従者(後継者・担い手)を組織に確保していく。
- 環境保全型農業直接支払制度に取り組む面積を拡大していく。
- 地域貢献の一環として、学校給食への供給を行う。